

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugiin.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2005年5月27日 No.105

与党、郵政民営化法案で本会議を強行

郵政民営化法案は、与党内の混乱を経て、与党が特別委員会の設置と本会議趣旨説明を強行しました。民主党はこのようなやり方に反対していません。細川律夫代議士のこの問題について触れた部分を掲載します。

私は財政投融资を含め、制度改革の必要は痛感し、民間との公平な競争をさらに進めるべきだと考えていますが、少なくとも今回提案されようとしている法案には反対です。まず、手続きにおかしな点が多すぎます。公社ができるときの法律に民営化はしない旨の記載があるのに、それを放置したままであること、首相と自民党の妥協部分が法案に反映されていないことなどで、そもそも、法案が国会に提案する前提を満たしていません。

小泉民営化に反対します

内容についても納得できません。第1に、郵政公社が一昨年に発足したばかりで、国鉄のような国家財政からの繰り入れもなく、郵政事業も概ね国民に支持されているなかで、民営化する理由が明確でないということです。第2に、もし民営化に失敗すれば、全国均一のサービスを受けてきた国民の利便を損なうことになり、仮に成功すれば、直ちに他の金融機関など民業への圧迫になってしまいます。第3に、だれがこれを歓迎するのかを考えると外資系企業やファンドなどではないか、との疑念が払拭できません。民営化そのものがアメリカの要求でもあります。今後の国会の動きをご注目ください。(細川律夫HPより)

決算行政監視委員会で審議

細川律夫代議士が委員長を務める衆議院決算行政監視委員会は、ほぼ週1回の審議が行われています。現在、平成15年度決算本体の質疑が続き、最後に、小泉総理を招いての総括質疑という手順になります。昨年はその締めくくり質疑の際、例の「人生いろいろ」発言が出ました。後半国会の一つの山場となるかもしれません。



決算行政監視委員会で委員長席に座る細川議員

鉄道事故を二度と起こすな

尼崎市で起こったJR福知山線の脱線・転覆事故から、すでに1ヶ月が過ぎました。死者107名というJR史上最悪の事故について、原因究明の調査も進み、JR西日本の責任も次第に明らかになってきました。去る13日には、衆議院国土交通委員会でこの事故に関する集中審議が行われ、与

野党を問わず、JR西日本に対し厳しい指摘が相次ぎました。

事故調査を再発防止に生かせ

現在、国土交通省に航空・鉄道事故調査委員会があり、この事故でも調査を継続していますが、この組織ができたのはわずか4年前です。以前は航空事故だけだった独立の調査機関を鉄道にも設置するよう、細川議員らが何度も求めた未誕生したものです。警察の捜査は、あくまで刑事責任の追及が目的であり、再発防止のための調査をするには別な機関が必要だ、と主張した結果でした。

鉄道事故はここ10年以上死者10名を超えるような大事故はなく、安全設備も発達した現在、もっとも安全な交通手段と考えられてきました。しかし残念ながら大惨事が起き、安全神話がまた一つ崩れてしまいました。今後は、事故調査委員会の徹底的な原因究明に基づいた再発防止策の実施により、二度と鉄道事故が起こらないシステムを作り上げなければなりません。

「死因究明」議論すすむ

細川代議士が座長を務める「死因究明ワーキングチーム」は4月以来週1回の会議を重ね、検視や解剖など死因究明制度の問題点について関係者から意見を聞いています。

誤認検視のため殺人の疑いのある事件が事故死になったり、保険金詐欺が見逃されたりする例などの報告があります。一方、解剖の仕事を支える制度の基盤が乏しく、予算も必要な額をはるかに下回る金額しか投入されていない実態も明らかになってきました。

死因の究明は犯罪捜査など社会秩序の維持のためだけでなく、事故や過失を含め民事事件に関わるもの、あるいは伝染病など公衆衛生の面、さらには大災害やテロなど緊急事態の際も重要であり、死因究明の確かさが社会の発展段階の指標になっているとも言われています。

わが国に欧米先進国並みの死因究明制度を確立することがこのワーキングチームの目標です。

青函トンネルを視察

北海道新幹線、新青森・函館間の起工式が5月22日に行われましたが、その直前である16日、細川律夫代議士らはその新幹線が通ることになる青函トンネルの視察をしました。そのなかで、トンネル改修工事の問題や新幹線開通後の貨物輸送がどうなるか、などが話し合われました。



青函トンネルで説明を聞く細川律夫代議士

6月12日、後援会日帰り旅行

細川律夫後援会では、恒例の日帰りバス旅行を6月12日に行います。今回は南アルプス市でのさくらんぼ狩りをメインに、御岳昇仙峡の見学など、山梨県をめぐる旅です。締め切りは月末ですので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

細川律夫より一言

JR福知山線の脱線転覆事故から1ヶ月経ちながら次第に原因も明らかになっていく。JR西日本の体質にもするどい入札。徹底的な原因究明と再発防止策が重要だ。

日中関係が最悪の方向へ向かっている。このまま進むと日中の経済にも悪影響を与え、何れも日中両国民の不幸となる。